

わかくさ広場の 利用者意見調査

上戸祭小学校 4年

濱田久遠 小原史生

(指導者 宇都宮大学教育学部 小原一馬)

研究の動機・きっかけ

近くの公園（わかくさ広場）では、以前は自転車も犬の散歩も、禁止されていなかったが、いつからか禁止されていてなぜだろうとおもったから。

新しいルールについて利用者がどう思っているのか気になったから。

他の公園では

他の公園では、どのようなことを禁止しているのだろうか、以前の新聞を調べてみたところ、千葉県船橋市の公園についての記事が見つかった（毎日新聞 2016年2月28日 地方版千葉県 「公園のボール遊びOK 中学生の要望で決断 9～11月、5公園で試行」）

船橋市は、子供たちが公園でボール遊びをできるように取り組む方針を決めた。「他の利用者に迷惑がかかる」などの苦情に配慮して全国的にボール遊び禁止の公園がほとんどだが、中学生の要望を取り入れ、方針変更を決断した。今年9～11月、市内5公園で週1～2回、放課後の2時間程度を使って試行し、可能なら2017年度以降、他の公園にも広げて本格実施する。（中略）

本来は市民が自由に使えるはずの公園だが、時代とともに「遊ぶ子の声がうるさい」「幼児も利用するのに危険」「ボールが飛び出し、家に当たった」などの苦情が全国的に増えた。船橋市では、苦情が寄せられた公園に順次「他の人の迷惑となるボールあそび禁止」の看板を設置してきた。しかし、「迷惑となる」の定義など、明確な決まりはない。

こうしたボール遊び禁止の流れの中、中学生にまちづくりへ関心を持ってもらおうと同市が開いている「こども未来会議室」で昨年度、各中学の代表から「ボール投げができる公園」の提言や要望が出された。このため、有識者や自治会関係者らで委員会を設置し、実現に向けて検討を重ねてきた。

この記事を読むと、全国の公園では、現在、ボール遊びを禁止しているところが多いことがわかる。しかし、もともとはこうした遊びは禁止されていなくて、最近、苦情が増えたために、ボール遊びなどが禁止されるようになってきたようだ。ただし、船橋市でもボール遊びがぜんぶ禁止されているわけではなくて、「他の人の迷惑となる」ボール遊びが禁止されているらしい。

こうした、いろいろな遊びが禁止される流れがある中、船橋市では子どもたちが大人に働きかけて、ボール遊びができるようにルールを変えてもらおうとしていることがわかる。

なお、この記事の他に、今年の五月にも船橋市の公園でのボール遊びについて、別の記

事が書かれていた（毎日新聞 2017年5月28日 地方版千葉県 「船橋市 公園でのボール遊び再試行 本格実施へルール作り 9月まで、夏休み含め時間も延長」）

船橋市は、子供たちが公園でボール遊びできる取り組みについて、9月まで再試行を始めた。昨年、県内で初めて3カ月間にわたって公園でのボール遊びを試行した結果、本格実施に向けたルール作りが必要と判断した。（中略）

試行は昨年9～11月に計70回行われ、計1280人の子供らが参加。市がアンケートした結果、参加者の60・3%が「（ボール遊びを）絶対やりたい」、公園の近隣住民の71・6%が「できた方がいい」と答えた。けがの報告はなかった。

この記事では、ボール遊びができるようにする試行がその後も続けられていて、実際に利用した子どもたちの多くがそれに賛成し、また公園の近くに住んでいる人でも公園でボール遊びができたほうが良いと答えた人の割合が高いことがわかる。迷惑だから禁止すべきだと考えている人のほうが少ないようだ。

これらの記事ではボール遊びについてしか書かれていないが、私たちの近くにあるわかくさ広場と同様、他の公園でも、様々な活動を禁止するような流れができていないかと思われる。

そこでこの調査では、そうした流れについて、わかくさ広場の実際の利用者がどのように考えているのか、調べてみたい。

わかくさ広場とは

宇都宮市若草にある、とちぎ福祉プラザのグラウンドである。このグラウンドは、一般の市民に開放されて、公園の役割を果たしている。グラウンドの中には、走るためのトラックがあり、その長さは縦100m、横70mである。広場のまわりには駐車場があり、グラウンド内での自転車が禁止されてからは、ときどきそこで子どもたちが自転車に乗りたりしているのを見るようになった。トラックの内側とすぐ外側は芝生になっている。（図1～3）

現在は次のような看板と掲示板（図4、図5）がいくつか置かれ、自転車や犬の散歩が禁止されるようになった。

図 1 若草広場



図 2 若草広場と東側の駐車場（子どもが自転車の練習をしている）



図 3 わかくさ広場と西側の駐車場（こちらでもしばしば自転車の練習をしている）



図 4 わかくさ広場の使い方を記した看板

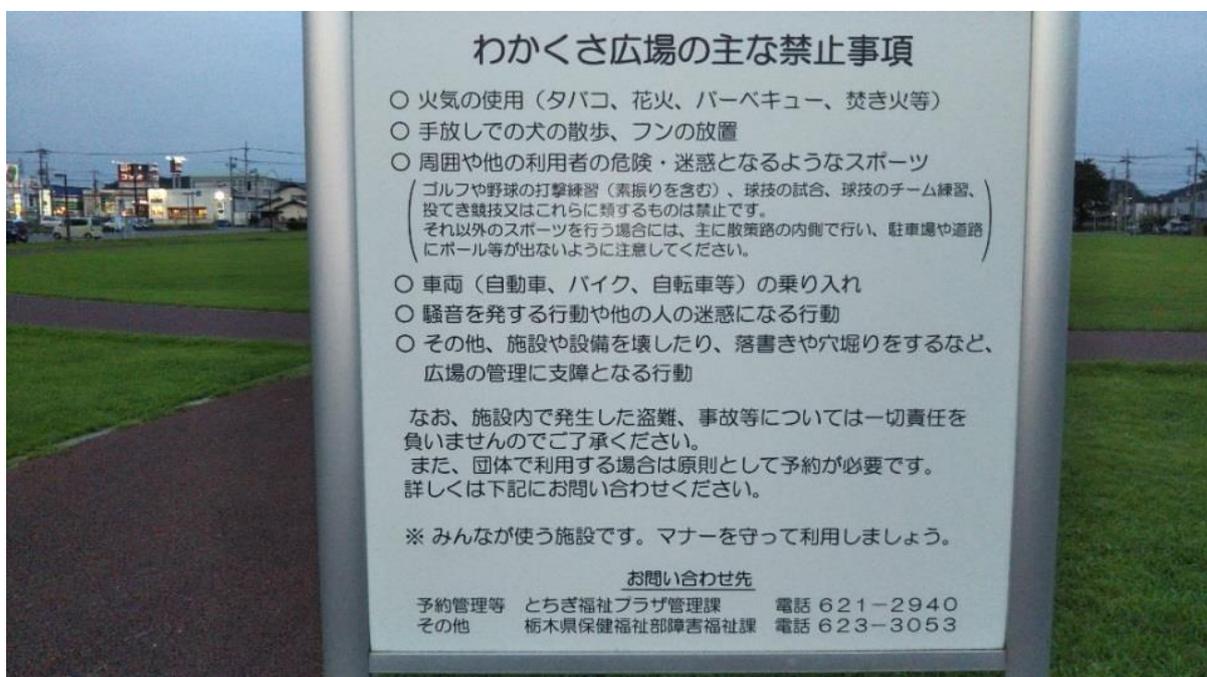
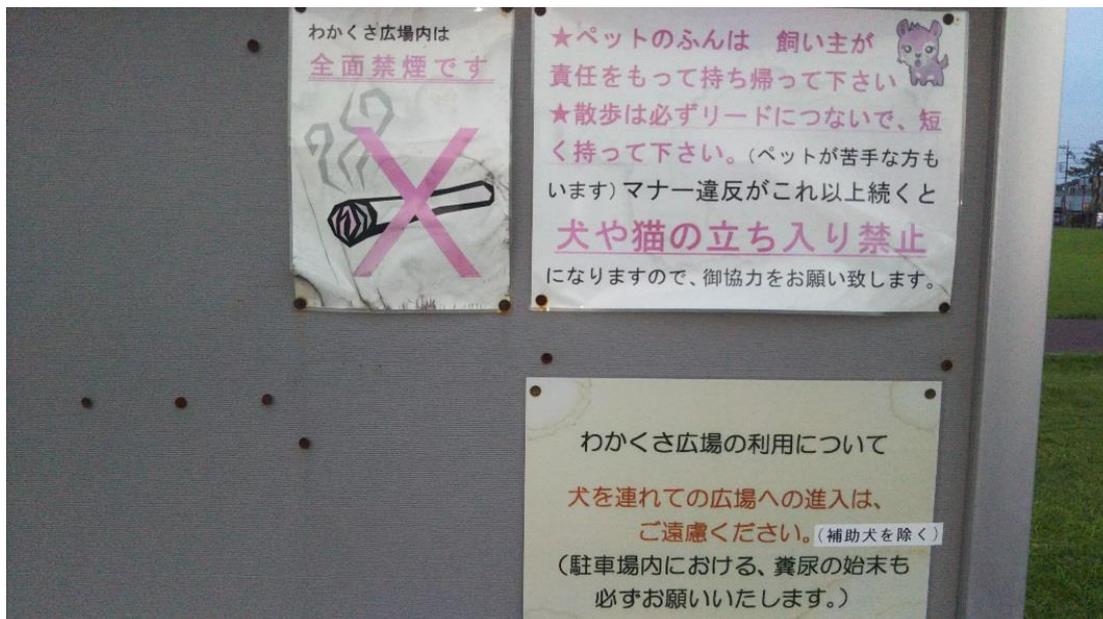


図 5 看板のとなりにおかれた掲示版



とちぎ福祉プラザ受付の方にインタビュー

2017年9月13日にとちぎ福祉プラザ受付で職員の方にインタビューをした。質問は全部で5つだ。

1. なぜわかくさ広場は、市民に開放されているのか？

とちぎ福祉プラザのホームページには、福祉プラザの目的として、次のような文がのっている。

「とちぎ福祉プラザは、障害者をはじめとする県民の幅広い交流と社会参加、自主的な福祉活動を支援していくことで、県民がともに支え合う地域社会をつくることを目指しています」

わかくさ広場も、このような目的のために一般に開放されているようだ。障がい者のスポーツなどのためなどに使われているが、一般の人にも利用してもらえるようにしている。

ただし、イベントなどで「占有」することもある。他のお客さんはいれないでください、というような使い方をすることもある。

2. 看板を立てた理由

一般の人だけではなく、障がい者の人たちもスポーツなどをするのに利用するので、そうした人も含めたみなさんの迷惑にならないような使い方を、わかりやすく示すため。

3. 看板がたてられた時期は不明

4. 掲示板において、犬の散歩が禁じられたいきさつ

それ以前は、犬の散歩などはふんの始末などをすれば使ってもらっても良かった。

しかし、最近、よく使われている利用者（障がい者の方だけではない）や近所の人から、「目の前で犬がうんちやおしっこをすると、嫌な気持ちになる」とか、「ふんの始末をしない人もいる」、またふんの始末はしていても、「おしっこは芝生や土に吸収されるので、そこでスポーツやレクリエーションをする際に、衛生的にきちんとして欲しい」というような声を何件かいただいた。ここは公園というよりは、そういうスポーツをするような場所として決まっているところなので、犬の散歩などで利用する人がいると、一部不快な思いをされる人がいるので、芝生の上などでは困ります、ということになった。

5. 掲示板で、犬の散歩が禁じられた時期

今年（2017年）の5月～6月あたりに掲示が加えられた。

調べること・仮説

利用者の意見を調べるのが主な目的だが、誰がどのように利用しているかわからないと、意見調査で聞く人が偏ってしまうかもしれないので、まず利用者調査を行い、その結果にもとづいて意見調査を行った。

1、利用者調査 誰がいつ何をしに来ているか

- (ア) 平日・休日
- (イ) 天気
- (ウ) 時間帯
- (エ) 大体の年齢
- (オ) 性別
- (カ) している事

仮説

- ① 運動と犬の散歩は、朝と夕方に多いだろう。
- ② 子どもや親子連れは朝と夕方に少ないだろう。
- ③ 子どもの自転車は休日に多いだろう。
- ④ 中高生はスポーツが多いだろう

2、意見調査 どのような人が何を禁止すべきと思っているか

- (ア) 平日・休日
- (イ) 天気

- (ウ) 時間帯
- (エ) 大体の年齢
- (オ) 性別
- (カ) ふだん広場でしている事
- (キ) 来る手段
- (ク) 何を禁止すべきどうか
- (ケ) 看板
- (コ) ルールに対してどう思っているか

仮説

人によってどれだけ多くのことを禁止すべきかという考えが違いうだろう。その意見は、以下の①～⑥によって異なるだろう。

- ① ふだん広場でしている事
 - 親子で来ている人は禁止すべきでないという事が多いだろう。
 - 自分が広場でやっていることはグラウンドでも禁止すべきでないというだろう。
- ② 年齢の違い
 - 子どもは禁止すべきでないという事が多いだろうが、大人は禁止すべきという事が多いだろう
- ③ 性別の違い
 - 男の人のほうが、禁止すべきでないという事が多いだろう
- ④ ルールに対する考えの違い
 - ルールを守るべきだと思っている人は禁止すべきだという事が多いだろう
- ⑤ 看板を見ているかどうか
 - 看板を見ている人は禁止すべきだという事が多いだろう
- ⑥ 家までの距離
 - 遠い人は車で来て看板を見ていない人が多いため、禁止すべきだという事が少ないだろう

調査方法

1、利用者調査 誰がいつ何をしに来ているか、見て記録する

期間

2017年7月24から8月27日

表 1 調べた日と時間（利用者調査）

		時間													
日付		7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
7/24	月								○		○		○		○
7/25	火			○		○		○		○					
7/26	水		○		○		○		○		○		○		
8/06	日		○			○		○		○			○	○	
8/17	木		○		○	○	○		○		○		○		
8/19	土								○			○		○	
8/20	日							○		○					
8/21	月		○		○		○		○		○		○	○	
8/23	水	○		○						○	○				
8/24	木	○		○			○	○							
8/25	金	○		○	○		○		○					○	
8/26	土	○		○		○									
8/27	日		○		○	○		○			○		○		

行ける日は基本的に2時間ごとに調べ、時間帯の偏りがないようにした。平日と土日は利用の仕方が違うだろうと考え、土日のデータが足りなくならないよう、土日は多めに行くようにした。

調査対象

グラウンドおよびその周辺（駐車場含む）を利用している人（駐車場に車を置くだけの人や通り抜けるだけの人は入らない）

（なぜ駐車場も入れたのかというとグラウンドでの犬の散歩や自転車などが禁止されたので駐車場でする人がいるから）

2、意見調査 どのような人が何を禁止すべきと思っているか、アンケートやインタビューする

アンケートの実物は、報告書の最後につけている。

インタビューはアンケート予定の項目を確認するために読み上げてたずねた。

内容はほぼ同一のため、後からデータを一緒にしている。

期間

2017年7月26日から8月27日

表 2 調べた日と時間 (◎はアンケートの準備のためのインタビュー調査)

日付		時間													
		7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
7/26	水		◎		◎		◎								
8/02	水		○		○		○		○		○		○		
8/03	木		○		○		○		○		○		○		○
8/05	土												○		
8/06	日			○		○		○		○	○		○		
8/17	木		○		○		○				○				
8/19	土											○			
8/26	土											○			
8/27	日				○										

行った時間にいた人にアンケートをした。ただし断られることもあった。たとえば走っている人や部活中の人などだ。帰る時を待つて聞くようにしたら上手くいくときもあった。

調査対象

グラウンドおよびその周辺（駐車場含む）を利用している人

（一度たずねた人にはたずねていない）

結果

1、利用者調査 誰がいつ何をしに来ているか

表 3 利用者の年齢と性別ごとの人数

	男	女
未就学	21	17
小学校低学年	22	11
小学校高学年	27	9
中高生	16	59
成人	123	133
総計	209	229

利用者の6割くらいが成人である。小学生の利用者は男子が多く、中高の利用者は女子が多い。

小学生で男子が多いのは、スポーツ（主にサッカー）の練習に使う人が多いことも関係している（図9）。小学生の女子のスポーツは少なかった。

中高の利用者が女子に偏っているのは、すぐ近くに女子高があり、休日の部活のトレーニングに利用しているからだと考えられる（図9）。

成人の利用者は、男女ほぼ同じくらいである。

表 4 平日・休日ごとの利用者の年齢ごとの人数

	未就学	低学年	高学年	中高生	成人	総計
平日	19	14	24	42	127	226
休日	19	19	12	33	129	212
総計	38	33	36	75	256	438

平日も休日も、大人と子どもの割合はあまり変わらない。

今回は、休日の利用について調べるために、平日と同じくらいの日数調べたが、そのせいで回答者が大人に偏っているわけではないことがわかる。

表 5 時間帯ごとの利用者の、年齢ごとの人数

時間帯 年齢	7～9	10～12	13～15	16～18	19～20
未就学	8	5	7	18	0
低学年	2	9	12	10	0
高学年	4	12	8	11	1
中高生	30	33	6	11	0
成人	50	32	41	110	18

成人は夕方にとっても多い。中高生は午前から昼までが多い。

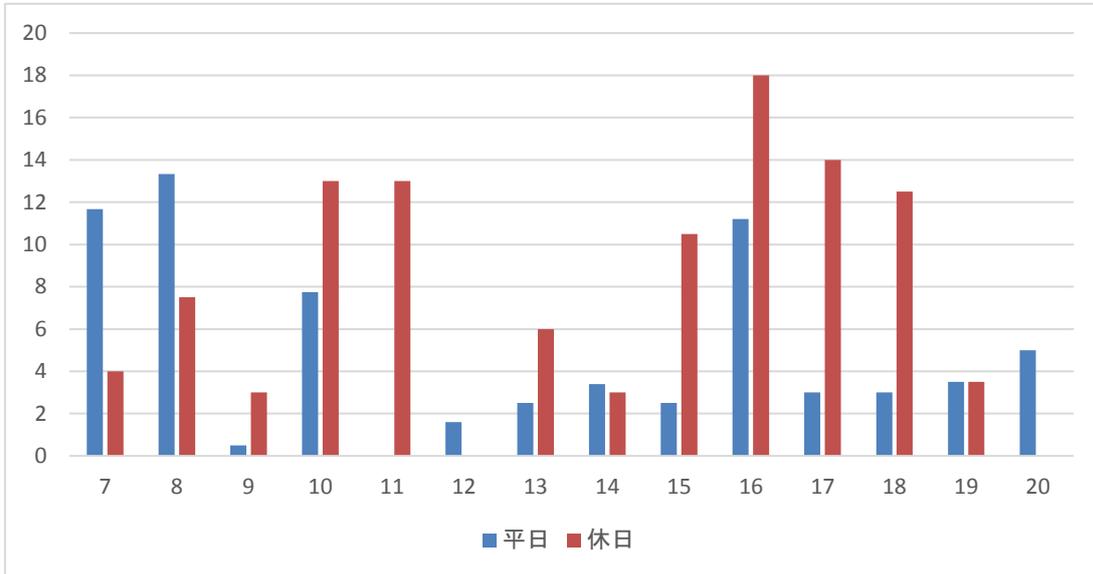
表 6 平日・休日（土日）別に見た、時間ごとの平均利用者数

		時間													
		7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
平日	のべ利用者数	35	40	2	31		8	5	17	5	56	3	12	7	5
	見に行った数	3	3	4	4	2	5	2	5	2	5	1	4	2	1
	平均利用者数	11.7	13.3	0.5	7.8	0.0	1.6	2.5	3.4	2.5	11.2	3.0	3.0	3.5	5.0
休日	のべ利用者数	4	15	3	13	39		18	3	21	36	28	25	7	
	見に行った数	1	2	1	1	3		3	1	2	2	2	2	2	
	平均利用者数	4.0	7.5	3.0	13.0	13.0		6.0	3.0	10.5	18.0	14.0	12.5	3.5	

休日の12時と20時は見に行けなかったので空欄になっている。

この表の平均利用者数をグラフ化したのが次のグラフである。

図 6 各時間帯の平日と休日の利用者数



(平日の11時は利用者数の平均がゼロだった。休日の12時と20時は見に行けなかった)

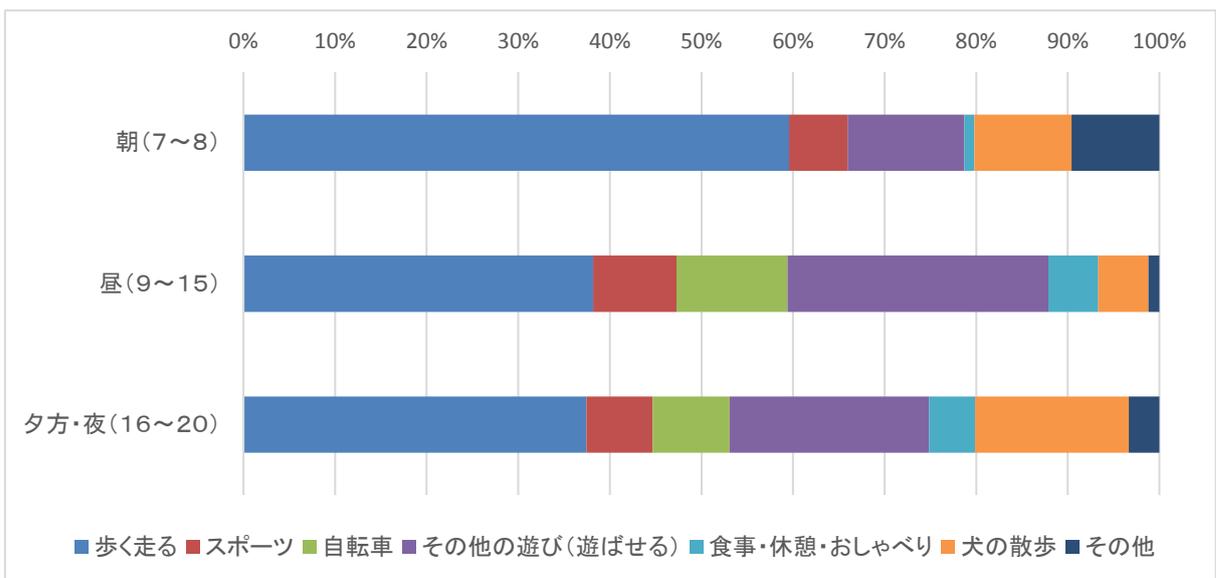
休日のほうが利用者数が多い。

平日は、朝と夕方(16時)に利用者が多い。

休日は、午前中(10時から11時)と、夕方(16時から18時)に利用者が多い。

平日の昼ごろに特に利用者が少なくなるのは、夏の暑さのためだと考えられる。

図 7 時間帯ごとの利用内容



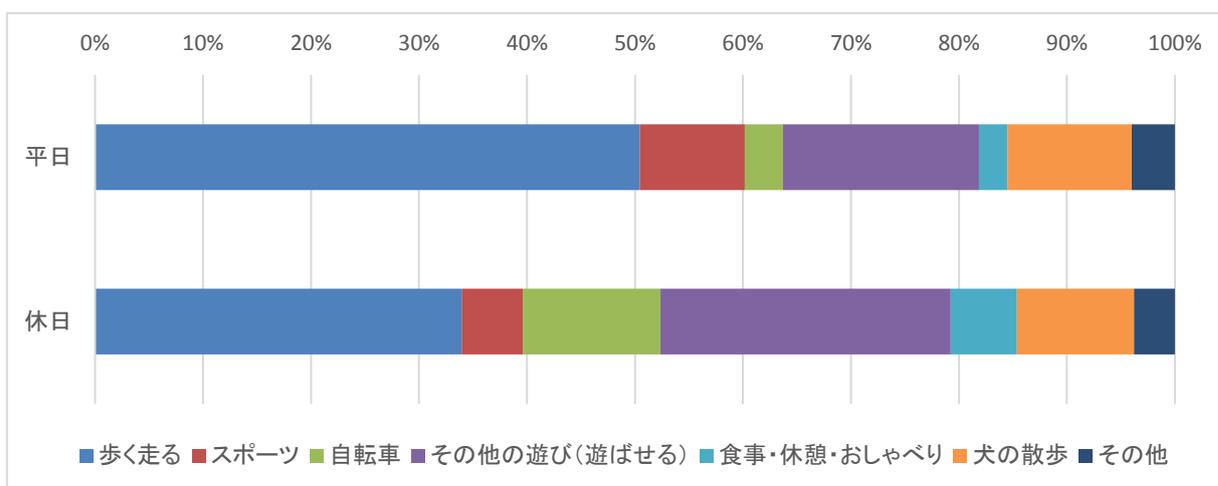
全体的に、歩く・走るの割合が多い。歩く・走るは朝が多い。

その他の遊び（主に子どもを遊ばせる）は昼（9～15時）に多い。

犬の散歩は夕方・夜に多い。

自転車（ほとんど子ども）は昼から夕方に多い。その他には、ブレイブボードやダンスの練習（グラウンドの外のコンクリート舗装された場所で行われていた）、いきもの交換のサークル活動（子どもを遊ばせながら、行われていた）などが含まれる。

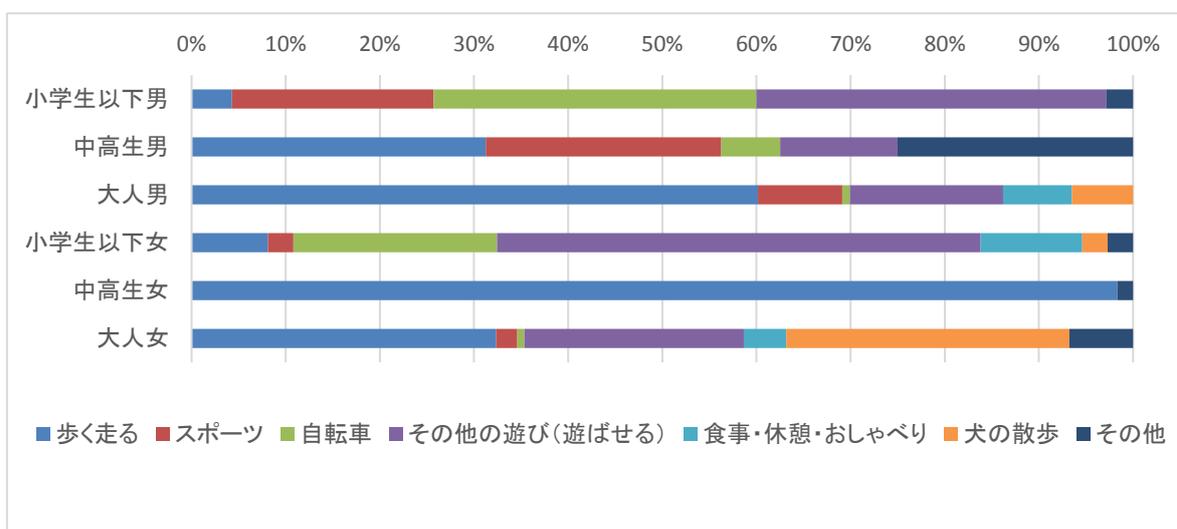
図 8 平日と休日の利用内容



歩く、走るは、平日のほうが多い。

自転車（ほとんど子ども）や、その他の遊び（主に、子どもを遊ばせる）は、休日のほうが、多い。

図 9 年齢・性別ごとの利用内容



小学生以下はその他の遊びや自転車が多い。

中高生以下の男子はスポーツ（主にサッカー）が多い。

中高生の女子はほとんど全て部活のランニングである。

大人の男性は歩く・走るが多く、女性は犬の散歩と子どもを遊ばせるが多い。

仮説の検証

① 運動と犬の散歩は、朝と夕方に多いだろう。

⇒運動は朝に多かった・犬の散歩は夕方に多かった。

② 子どもや親子連れは、朝や夕方に少ないだろう。

⇒正しかった

③ 子どもの自転車は休日に多いだろう。

⇒正しかった。

④ 中高生はスポーツが多いだろう

⇒男子は、その通りだったが、女子は、部活のランニングで来る人が多かった。

利用者調査の結果のまとめ

全体的な傾向としては、

- 利用者の半分以上は成人で、成人は夕方に多い

曜日と時間帯については、

- 休日のほうが利用者数が多い
- 平日は、朝と夕方（16時）に利用者が多い
- 休日は、午前中（10時から11時）と、夕方（16時から18時）に利用者が多い

利用の仕方としては、

- 全体的に、歩く・走るの割合が多く、これらは朝が多い。

その他の利用の仕方と、時間帯の関係については、

- その他の遊び（主に子どもを遊ばせる）は昼（9～15時）に多い
- 犬の散歩は夕方・夜に多い。
- 自転車（ほとんど子ども）は昼から夕方に多い

利用の仕方と曜日との関係では、

- 歩く、走るは、平日のほうが多い。
- 自転車は、休日のほうが、多い。

- その他の遊び（主に遊ばせる）は休日のほうが多い。

年齢・性別と利用の仕方の関係としては、

- 小学生以下はその他の遊びや自転車が多い。
- 中高生以下の男子はスポーツ（主にサッカー）が多い。
- 中高生の女子はほとんど全て部活のランニングである。
- 大人の男性は歩く・走るが多く、女性は犬の散歩と子どもを遊ばせるが多い。
- 小学生以下はその他の遊びや自転車が多い。
- 中高生以下の男子はスポーツ（主にサッカー）が多い。
- 中高生の女子はほとんど全て部活のランニングである。
- 大人の男性は歩く・走るが多く、女性は犬の散歩と子どもを遊ばせるが多い

となった。

2、意見調査 どのような人が何を禁止すべきと思っているか

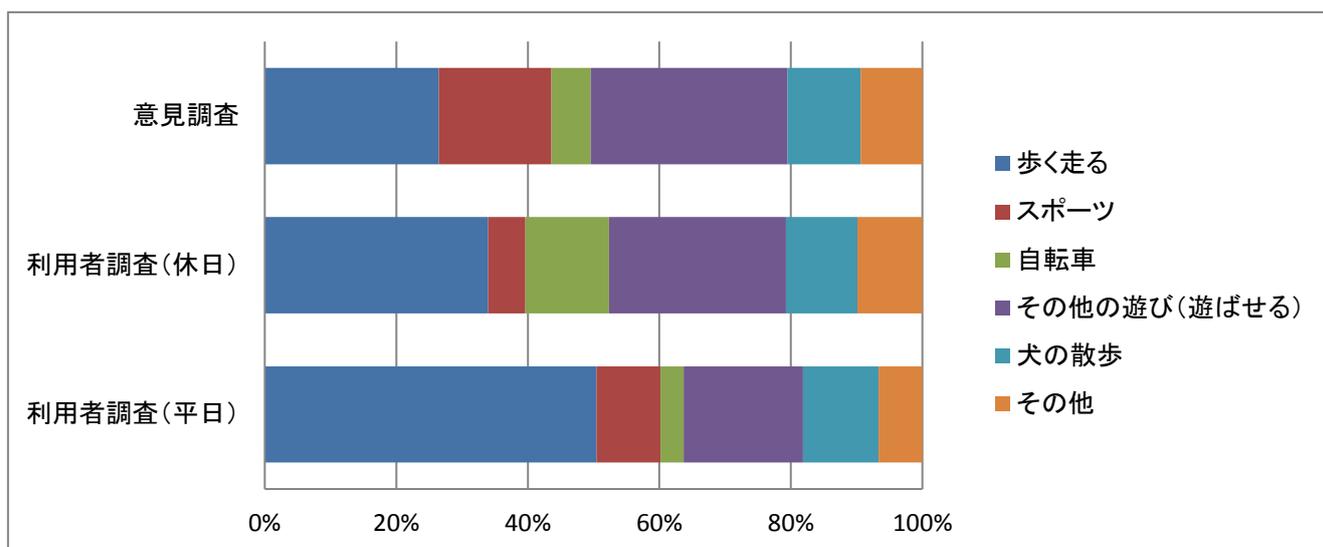
表 7 回答者の年齢と性別

	男	女
小学校低学年	5	
小学校高学年	4	4
中高生	2	10
成人	20	35
総計	31	49

利用者調査では、成人の男女はほぼ同じくらいだったが、意見調査では女性の回答が多くなった。

成人の男性は、歩く・走るが多く、なかなか聞きにくかったためである。また今回は、低学年の女子にはきくことができなかった。

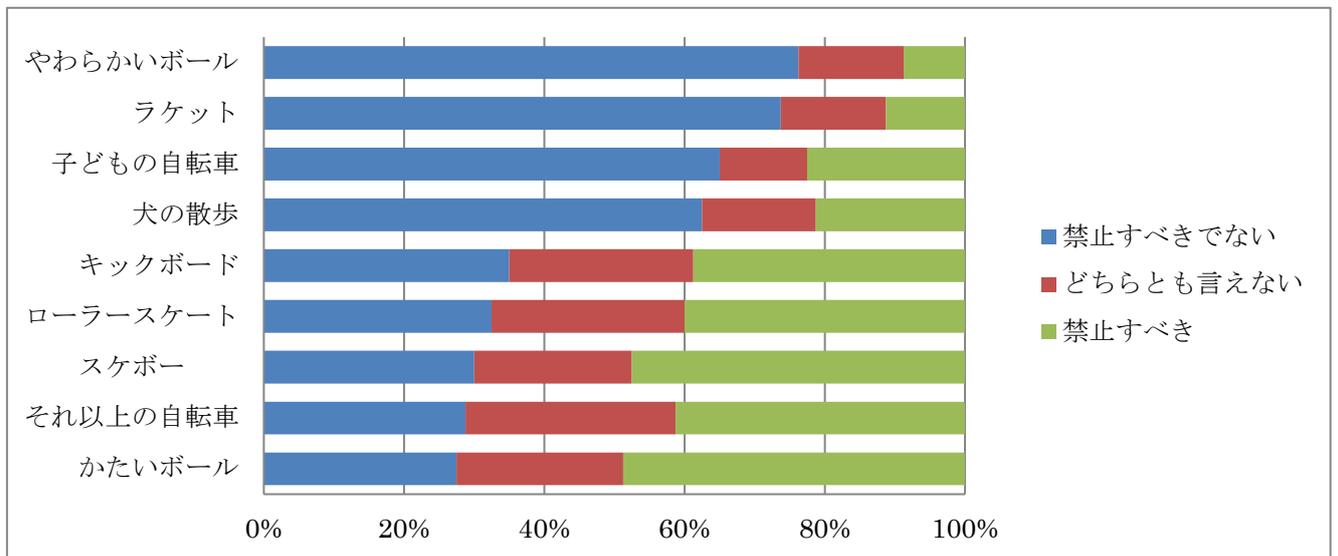
図 10 意見調査における、利用の仕方ごとの回答数と、利用者調査との比較



今回の意見調査の回答者は、利用調査の利用の仕方と比べると、スポーツの割合が高く、歩く・走るの割合が低めである。自転車については休日と平日の間くらいの割合になっている。

それ以外は休日の割合とほぼ近い。

図 11 それぞれの事を禁止すべきかどうかについての、意見の割合



やわらかいボール、ラケット、子どもの自転車（小学校低学年）、犬の散歩は禁止すべきでないが多く（6割以上）、キックボード、ローラースケート、スケボー、それ以上の自転車、かたいボールは禁止すべきがより多かった。ただし「禁止すべき」がもっとも多い「かたいボールの遊び」でも、「禁止すべき」は50%いかなかった。

年齢ごとにも見たが、どの行動を禁止すべきという考えは、どの年齢でも大きな違いは見られなかった。

現在ルールで、子どもの自転車や犬の散歩が禁止されているが、利用者においては、禁止すべきでないと思っている人の方が多いことがわかる。

仮説の検証

それぞれの人々がどれだけ多くのものについて禁止すべきだと思っているか、数字で表すために

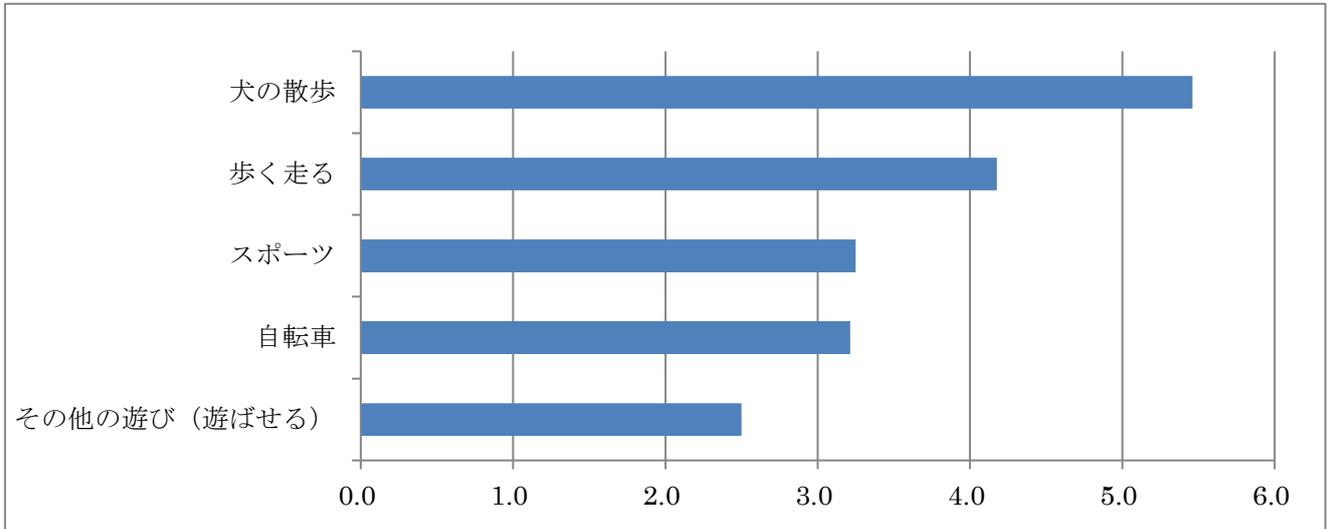
「禁止すべき」⇒1 「どちらでもない」⇒0.5 「禁止すべきでない」⇒0 という点数をつけ、禁止すべきと思っている事の平均の数を計算した。

① ふだん広場でしている事

仮説 親子で来ている人は禁止すべきでないという事が多いだろう。

仮説 自分が広場でやっていることはグラウンドでも禁止すべきでないというだろう

図 12 ふだん公園でやっていることごとに見た、禁止すべきだと思っている事の数

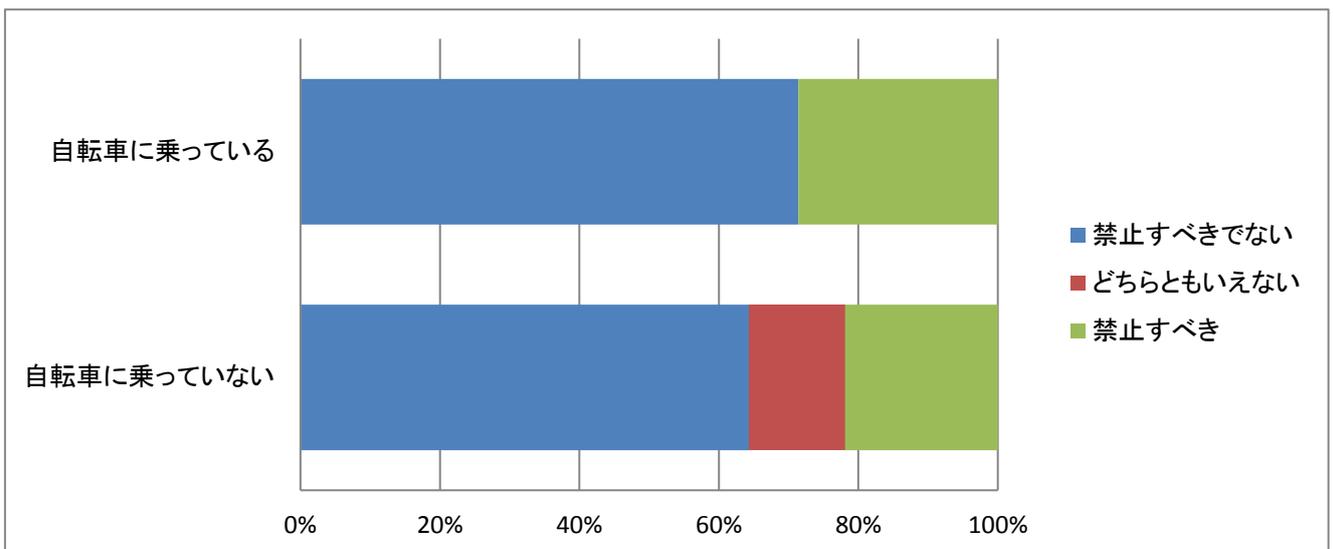


予想通り、その他の遊びをしている人（そのほとんどが、子どもが遊んだり、子どもを遊ばせている人）は禁止すべきと考えることの数が少ない。子どもを遊ばせる人は自転車やキックボードなどをグラウンドで子どもにやらせてあげたいのではないかと。

逆に、犬の散歩をする人たちは禁止すべきと考えることの数が多かった。

犬の散歩をしている人は、子どもとあまり関わりがないからかもしれない。また犬の散歩や運動をしている人は比較的高齢者が多いように見えた。こうした年齢の違いも関係あるかもしれない。

図 13 自転車に乗っている人といない人の、自転車を禁止すべきかどうかの意見

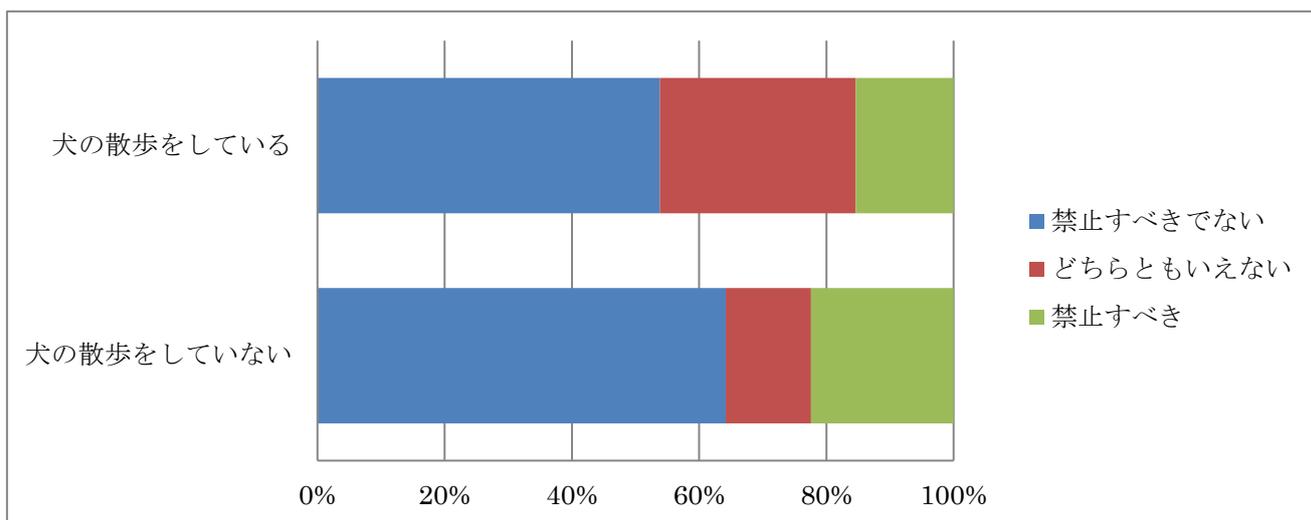


予想に反して広場およびその周辺で自転車を利用している人も、いない人も意見はあま

り変わらなかった。

今グラウンドで自転車は禁止されていて、自転車に乗っている人は駐車場で乗っている人が多い（特に小学生以上）。そうした人の中には、このままでいいと思っている人もいるようだ。

図 14 犬の散歩をしている人としていない人の、犬の散歩を禁止すべきかどうかの意見



自転車のときと同じように、犬の散歩をしている人もしていない人も、「禁止すべき」の割合はあまり変わらなかった。犬の散歩をしている人はどちらとも言えないの意見が多い。犬を連れて入りたいと思っても、迷惑になるかもしれないと、「禁止すべきでない」と言うのを遠慮しているのかもしれない。

② 年齢の違い

仮説 子どもは禁止すべきでないという事が多いだろうが、大人は禁止すべきと言う事が多いだろう

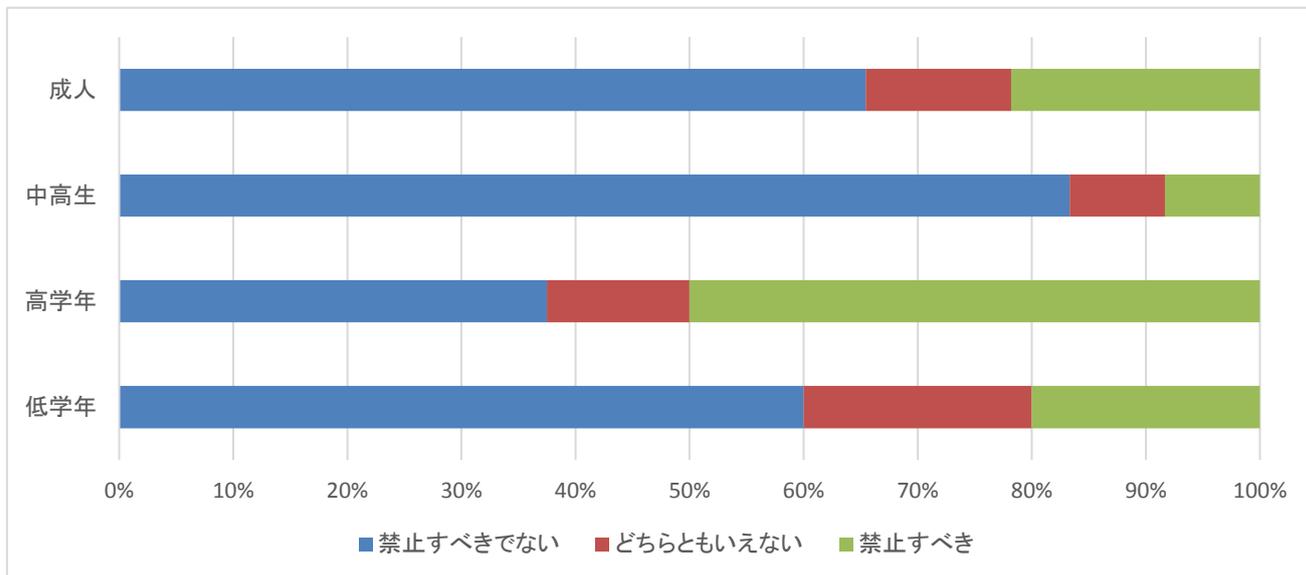
表 8 年齢と意見の関係

	禁止すべきと思っている事の数
小学校低学年	4.0
小学校高学年	5.3
中高生	2.8
成人	3.7

中高生が、一番、禁止すべき事の個数が少ない。

予想に反して、小学校高学年が禁止すべきことの個数多い。

図 15 子ども（低学年以下）の自転車を禁止すべきか



ひとつひとつの項目について、禁止すべきかどうかの意見と年齢の関係を調べてみたところ、どれも大体図 15 と同じような傾向になった。いつも中高生で「禁止すべきでない」が一番多く、次が成人で、一番「禁止すべき」が多いのは小学校高学年だった。

僕たちがそうだったので子どもはもっと自転車の練習やキックボードなどをグラウンドでやりたいのではと思っていたが、小学校高学年では、親にここではやっちゃダメ！と教えられていることをそのまま自分でも思うようになってきているのか、禁止すべきの割合が一番多くなった。

中高生で禁止すべきの割合が低かったのは、この広場が自由だった頃をよく覚えているからかもしれない。

③ 性別の違い

仮説 男の人のほうが、禁止すべきでないと言う事が多いだろう

表 9 性別と意見の関係

	禁止すべきと思っている事の数
男	3.6
女	3.8

予想通り男性のほうが禁止すべきと思っている事数が少なかったがその差はわずかだった

④ ルールに対する考えの違い

仮説 ルールを守るべきだと思っている人は禁止すべきだという事が多いだろう

表 10 ルールに対する考えの違いと、禁止すべきと思っている平均の個数

	禁止すべきと思っている平均の個数
必ずルールを守るべき	3.7
場合によっては守らなくてよい	3.3
迷惑にならなければ 気にしなくてよい	4.4

予想に反して迷惑にならなければ 気にしなくてよいと答えた人が、禁止すべきと思っている事の個数が一番多かった。

なお必ずルールを守るべきを選んだ人は64人、場合によっては守らなくてよいを選んだ人は9人、迷惑にならなければ、気にしなくてよいを選んだ人は7人で、ほとんどの人は必ずルールを守るべきと答えている。

⑤ 看板を見ているかどうか

仮説 看板を見ている人は禁止すべきだと言う事が多いだろう。

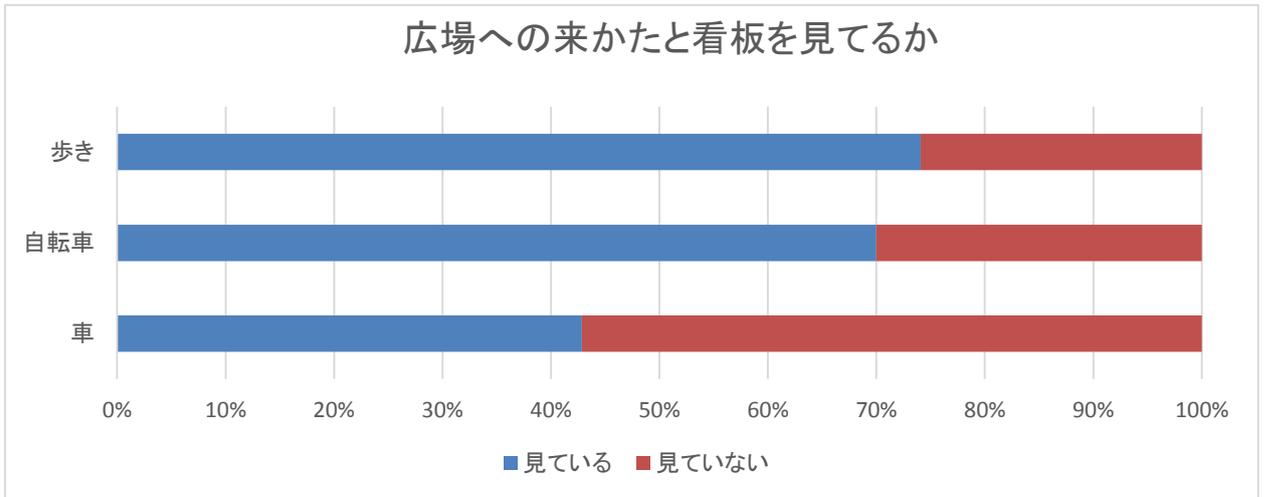
表 11 看板を見ているかどうかと意見の関係

	禁止すべきと思っている平均の個数
看板を見ている	3.9
見ていない	3.6

予想通り、看板を見ているほうが、禁止すべきだと思っている事が多かったがその差はわずかだった。

⑥ 家までの距離

仮説 遠い人は車で来て看板を見ていない事が多いため、禁止すべきだと思うことが少ないだろう



予想通り、車で来た人より歩きや自転車で来た人のほうが看板を見ている割合が高かった。

表 12 広場への来かたと、禁止すべきと思っている事の数

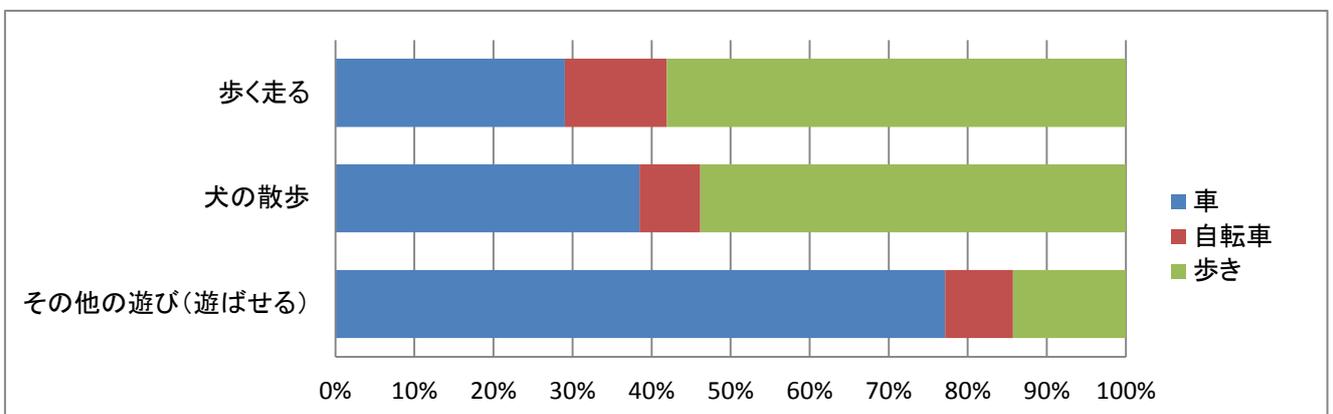
	禁止すべきと思っている事の数
車	3.2
自転車	3.8
歩き	4.6

歩きできている人が禁止すべきと思っていることが多かった。

仮説を立てた時には、歩きで来ている人は看板を見ている割合も高いので、そのせいかもしれないと思っていたが、看板を見ているかどうかで意見はこれほど違っていなかった。

そこで、広場への来かたと、広場の利用の仕方の関係を調べてみた。

図 16 広場の利用の仕方と、広場に何できたか



子どもを遊ばせるために広場に来ている人の多くが車で来ているのに対し、歩く・走るや犬の散歩のために来ている人は、歩きできていることがわかった。この利用の仕方の違いのために、車でくる人は、禁止すべき事が少なくなるのだろう。

意見調査の結果のまとめ

全体的な傾向として、

- やわらかいボール、ラケット、子どもの自転車（小学校低学年）、犬の散歩は禁止すべきでないがより多く、キックボード、ローラースケート、スケボー、それ以上の自転車、かたいボールは禁止すべきがより多かった。
- この傾向は、年齢によって違いは見られなかった。

現在広場のルールとしては、子どもの自転車や犬の散歩は禁止されているが、この二つについては禁止すべきでないと思っている人の方が多いことがわかった。

誰が、どれだけたくさんのかを禁止すべきと考えるかについて
利用の仕方に関しては、

- 子どもを遊ばせている人は禁止すべきと考えるものが少ない。一方犬の散歩をする人や、歩く・走るなどの運動をしている人は、その数が多い。

年齢に関しては、

- 中高生は、禁止すべきではないの割合が多い。
- 小学校高学年は禁止すべきの割合が多い。成人はその中間だった。

来た方法に関しては、

- 歩きできている人が禁止すべきと思っている事が多かった。ただし、この違いはほとんど何をしているかで説明できる。（歩きできている人は、犬の散歩や歩く・走るために来ている人が多いので、禁止すべきだと思っていることが多くなる。子どもを遊ばせる人の多くは車で来ている）

それ以外に関しては、あまり意見に違いが見られなかった。

なお、自分がやっていることは禁止すべきではないと考えている人が多いだろうと予想していたが（犬の散歩や自転車など）、そのような傾向はみられなかった。

自由回答について

自由回答が書かれている回答は全部で41あった（全体のほぼ半分）。うち広場の使い方に関係のないものが3（調査者へのはげましなど）。

残り38は3つに分類できる（3つは1と3で、2つは2と3で重複していた）

① 使い方に関するより一般的な希望 22

代表的な意見

- 使う人が心地よく使えれば良いと思います（中高生・女・その他）
- みんなが気持ちよく使えるように思いやりをもって使うことが大切だと思う（成人・男・子どもを遊ばせる）
- みんなが他の人の迷惑を考えて楽しく利用できると良いと思います（成人・女・犬の散歩）
- 危険性ばかり重視して、使い方に制限をかけすぎでは子どもたちの遊び場所がどんどんなくなってしまいます。それはどうかと思います。危険な使い方をしている人には周りの人が注意するなどして、お互いに気をつける。それぞれが気持ちよく楽しめる広場であって欲しいと思います。（成人・女・遊ばせる）

これらと同様の意見他に15個 この種類の自由回答がもっとも多かった。

それ以外だと、

- ルールが守ればそれでよい（小学校高学年・女・歩く、走る等）
- 広場での犬の散歩はなくなりました。なんでも禁止だとかかわいそうな気がします、それぞれが周りに注意して利用できればいいですね（成人・女・犬の散歩）
- 子どもが遊びやすい場所であって欲しいです。（成人・女・歩く、走る）

といった回答が見られた。

② 広場の使い方や、設備などに関する特定の希望 11

- 犬を連れて広場に入れないのは不便、マナーの悪い人もいるのではないとは思いますが…（成人・女・子どもを遊ばせる）

同様の意見他に1つ

- 時々犬のフンを見かけるので散歩させる人はフンの後始末をきちんとして欲しい（成人・女・子どもを遊ばせる）

同様の意見他に1つ

- キックボード・スケートボードが危険なので禁止してください（成人・女・犬の散歩）

同様の意見他に1つ

- 子どもが小さかった頃まだ自転車禁止されてなくここで練習できました。公道や駐

車場で練習すると危険だしそういう場所は必要だと思います。ローラースケートなども同様です。(成人・男・遊ばせる)

- 利用客を増やすために遊具などがあるとありがたい(成人・男・子どもを遊ばせる)
- (アンケートの) 上記(に記入した) ように、キャッチボール等、固いボールを使用するスポーツについてはケガ発生のおそれもあることから今後は控えて欲しいと思う。(成人・男・歩く、走る)
- 時計が欲しいです(回答の前半は③の5番目、成人・男・子どもを遊ばせる)
- 看板が見えやすいところがあると良い(成人・女・子どもを遊ばせる)

③ 今の状態でよい 10

- 子どもから若い人、お年寄りまでいろいろな人が楽しめるとてもよい広場だと思います。みんながこれからも気持ちよく使えるように、使う人がよく考えて大切に使うとよいと思います。(後半は分類① 成人・女・犬の散歩)
- 自由に使える広場は、貴重な場所なので、ぜひ(これまでどおり)開放してほしい。(成人・男・歩く、走る等)
- 周りには広い公園がないため、このような公園は貴重です。皆がルールを守って楽しく使えばよいと思う(後半は分類① 成人・女・スポーツ、子どもを遊ばせる)
- 自宅が近所のため、日頃のジョギングコースとして使用している。コースが整備され芝もキレイなため、利用者として非常に満足している。(成人・男・歩く、走る)
- 緑がいっぱいあるので楽しい。いやされる。子どもと一緒に遊べるのでよい。(成人・男・子どもを遊ばせる)

他に広くて使いやすい点、遊びやすい点などを評価しているもの3つ

不満なし2つ

自由回答からわかること

上の①からわかること

利用者の意見として、「なんでも禁止してしまうのではなく、周りの迷惑にならないように一人ひとりが気をつけたり、周りが注意をしたりして、みんなが楽しく使えるようにするとよい」というような内容が多かった。

②からわかること

アンケート前半の調査からもわかるが、犬の散歩やスケートボードなどに対して、禁止すべき・禁止すべきでないという正反対の見方があることがわかる。またそのように考える理由がわかる(禁止すべきというほうは、スケートボードなどは危険だから、犬の散歩はふんが始末されていないから。禁止すべきでないというほうは、広場で禁止すると、安全にそれができる場所が他に見つけられずに、危険なところであることになってしまうから、

など)

また、わかき広場の管理者に対する、その他の要望がわかった（時計が欲しい、遊具が欲しい、見やすいところに看板が欲しい、など）

③からわかること

自由に使える、広い、緑が多い、コースがよく整備されているなど、広場のどのようところがいいと思っているかがわかる。

まとめ

今回の調査から、利用者の広場の使い方に関する意見として、次のことがわかった。

全体で共通する傾向としては、

何を禁止すべきで、何を禁止すべきではないかという考えは、多くの利用者にだいたい共通していた。具体的に言うと、やわらかいボール、ラケット、子どもの自転車（小学校低学年）、犬の散歩は禁止すべきでない、がより多く、キックボード、ローラースケート、スケボー、小学校高学年以上の人の自転車、かたいボールは禁止すべきがより多かった。ただ、一番「禁止すべき」が多い、「かたいボールを使った遊び」でも、「禁止すべき」は半分より少なかった。

考え方に違いがみられる点としては、

広場の使い方について、いろいろとルールを作ってそのルールに従うほうがいいという意見と、あまり禁止せずに、そのときそのときでみんなが周りの迷惑を考えて行動したほうがいいという意見の対立が見られる。今回の調査では禁止すべきと考える事の数、および自由回答にそれが表れている。

このような意見の違いは、年齢の違いや利用内容の違いの間に見られた。年齢では小学校高学年が一番禁止すべき事の数が多く、中高生がもっとも少なかった。成人はその中間だった。利用内容では、犬の散歩や、歩く・走るの運動をしている人で、一番禁止すべき事の数が多く、子どもを遊ばせている人たちで、それが少なかった。

利用者調査からは、成人の利用が全体の6割で、利用内容としては、平日は歩く・走るが多く、休日は歩く・走るとほぼ並んで、子どもを遊ばせる親子連れが多いことがわかっている。

考察と提案

今回の調査から、次のようなことが言える。まず子どもの自転車（小学校低学年）、犬の散歩については禁止すべきでないと考える人が多い。それに、禁止すべきではないと言っているのは自転車をしている人や犬の散歩をしている人だけではない。だから禁止すべきではないだろう。

しかし、それに反対する人もいる。特に犬の散歩については、ふんをかたづけられない人がいるという問題がある。

こういう人については、ルールで禁じてもあまり効果はなく（ふんをかたづけられないような人は、ルールも気にしないだろうから）、逆にまじめな人だけが犬の散歩でグラウンドを利用できなくなるだけだろう。たとえば犬の散歩をする人が、互いにふんを見つけたらか

たずけるようにしたり、ボランティアの人に清掃をお願いしたりするのがよいだろう。

また自転車については、特にトラックで歩いたり、走ったりという人が、迷惑に思っていることがわかった。なので、自転車については、まず小学校低学年以下というように、年齢で制限したり、駐車する車が少ない時には、駐車場の一部を自転車でも利用できるようにすると良いかもしれない。(現在も、実際にはそのように利用されていた)。

なお今回の調査は、夏休みに行ったので、利用の仕方については、他の季節とは異なるところも多いだろう。

しかし、夏休みだからといって、平日に子どもが多いわけではなかったので、利用者の割合はふだんとそれほど変わらないと考えられる。ただし、夏は暑いので、日中の利用者はとても少なかった。この点は、他の季節と異なっているだろう。利用者の意見については、特に季節と関係しないと考えられる。

とちぎ福祉プラザ受付の方にインタビュー・提出

2017年9月13日に、とちぎ福祉プラザの受付の方に、この報告書を提出し、インタビューを行った。

広場の使い方に関するインタビューの内容は、4ページに記した。

またそれ以外に、もう一点うかがった。

「子どもたちの意見はどこに出したらいいのですか」 それに対して、下のような回答をいただいた。

こちらでこの建物や広場を管理しているので、受けつけています。今回このような報告書をいただきましたので、中で報告はあげさせてもらいました。ただ、いろいろな意見がありますので、これからまたどういう使い方をしたらいいのかということは、こちらで考えさせていただきます。

僕たちの意見が福祉プラザの人に聞いてもらえてよかった。さらにルールが変わるといいと思う。

参考文献

毎日新聞 2016年2月28日 地方版(千葉県) 「公園のボール遊びOK 中学生の要望で決断 9～11月、5公園で試行

毎日新聞 2017年5月28日 地方版(千葉県) 「船橋市 公園でのボール遊び再試行 本格実施へルール作り 9月まで、夏休み含め時間も延長」

この調査を行ってみての感想

大変だったこと・楽しかったこと・学んだこと

私が、大変だったことは、アンケートをすることだ。初めて話しかけるとときには、人に聞くのにプレッシャーがかかり、ずっとウジウジしていた。一緒にやった小原君と「聞いても断られるんじゃないかな」とか「あの人、怖くないかな」とか二人で話していて、いつまでたっても話しかけられなかった。結局、小原君が「最初久遠が話しかけてくれれば、後は僕が全部やるから」というので、勇気を出して話しかけてみた。そうしたら思ったよりもずっとみんな優しく、小原君も約束通り、私が最初話しかけた後は説明をしてくれた。

楽しかったのは、まず最初のアンケート作りや、これを書いたことだ。パソコンの使い方を教わることができたし、一緒に相談しながら、文を打っていくのも楽しかった。また、何度もわかき広場に行っているうちに、この時間にはどんな人がいるのかな、と見に行くのもだんだんと楽しくなっていて、毎回わくわくしていた。

学んだことの一つ目は、公園などの場所の使い方のルールは、みんなの意見で変わるかもしれないということだ。たとえば今回みたいにみんなの意見を集めて、聞いてもらうようにすれば、ルールも変えてもらえるかもしれない。

二つ目がパソコンでのいろいろな技術だ。パソコンで棒グラフを作ったりするやり方などを教えてもらうことができた。

三つ目は、人との話し方だ。アンケートをお願いするとき、最初はなかなかうまく声が出なかったが、やっているうちにだんだんと、相手が楽しい気分で答えられるように、明るく元気に話しかけるように心がけられるようになった。また恥ずかしくても小声ではなく、しっかりと声を出して、あんまり早口にもなりすぎないように気をつけることなども学んだ。

夏休み前に、小原君に誘われた時には、こんなに長く大変だとは思っていなかった。今もう夏休みが終わったのに、まだこの感想を書いているし、これから福祉プラザの人たちの最後のインタビューも残っている。(他の夏休みの宿題を早く終わらせていて良かった)。

でも、こんなに大変だったのに、終わってしまうとちょっとさみしいし、パソコンなどは、これからも勉強して、もっとできるようになれたらいいなと思っている。

(濱田久遠)

大変だったこと・楽しかったこと・学んだこと

僕が一番大変だったことは最後のグラフづくりや、結果の分析、仮説の検証などだ。もちろんたくさんのことを考え、パソコンで打つのも大変だったが、夏休みも終わる寸前で、急がなくてはいけないが、作業も多くとてもプレッシャーがかかっていたことも大変だと思った理由の一つかもしれない。

楽しかったことは書いてもらった自由意見を見たことだ。いろんな意見があるのが楽しくて、「こういう意見もあるんだ！」とか、「この気持ちわかる」という気持ちになれるからだ。なかには共感できない意見や、よくわからない意見もあったが、そういうものも含めて、様々な意見があることがわかってとても楽しかった。

この自由研究を通して、学んだこと、できるようになった事は三つある。

一つ目は、たくさんの人の意見をバランスよく伝える事の大切さだ。もし自分と意見が似ている人ばかりに話を聞くと、他の意見を持っている人はいないということになってしまう。だが実際はそうではないので、違う意見の人にもバランスよく聞くことが必要だということがわかった。

二つ目は見知らぬ人に話しかける事だ。以前は見知らぬ人に話しかけることなんかできなかった。だが、この調査をやるにあたって、人に話しかけざるを得ない。最初はとても緊張していたが、一緒に調査をやってくれた濱田さんががんばって話しかけると、やさしい人たちが多くて、「がんばってるね」とか「自分の娘の自由研究よりもずっとすごい」など、ほめてもらったり、はげましてもらったりした。それを見ていて、僕もだんだんと見知らぬ人に話しかけることができるようになり、あまり緊張もしなくなった。

三つ目は、パソコンでデータをグラフや表などにまとめるやり方だ。グラフ作りや、表などの分析はとても難しく、わかるようになるまでに時間もかかったが、ゆっくり教えてもらったので、よくわかった。はじめはだいぶ手伝ってもらったが、今ではだいたい自分でできるようになった。

この三つのことを僕はこの自由研究で学んだ。

とても自分の力になったので、本当にやって良かったと思う。

(小原史生)

添付資料

アンケート用紙

わかくさ広場利用者アンケート

僕らは夏休みの自由研究で、わかくさ広場の使い方についての皆さんの意見を知りたいと思い、調べることにしました。ご協力お願いいたします。

ことわらない限り、当てはまる番号一つに、○をつけてください。

1. あなたは？

①小学生（1～3年） ②小学生（4～6年） ③中高生 ④成人（18歳以上）

2. 性別は？

①男 ②女

3. あなたはどのようにふだんこの広場を利用していますか？当てはまるものすべてに○をつけてください。

①歩く、はしる ②スポーツ ③自転車 ④その他の遊び（子どもを遊ばせる）⑤おしゃべり

⑥犬の散歩 ⑦その他（ ）

4. あなたは今日何でこの広場に来ましたか？当てはまるものに○してください。

①車 ②自転車 ③歩き その他（ ）

5. この広場のグラウンドで、次のような行為を禁止すべきだと思いますか？ 当てはまるものに○をつけてください。（周りに迷惑にならないよう注意して行うこと前提で）

- ・かたいボールを使うスポーツ（キャッチボール等） 禁止すべき・禁止すべきでない・どちらともいえない
- ・柔らかいボールを使うスポーツ（サッカー等） 禁止すべき・禁止すべきでない・どちらともいえない
- ・ラケットを使うスポーツ（バドミントン等） 禁止すべき・禁止すべきでない・どちらともいえない
- ・子どもの自転車（小学校低学年まで） 禁止すべき・禁止すべきでない・どちらともいえない
- ・小学校高学年以上の人の自転車 禁止すべき・禁止すべきでない・どちらともいえない
- ・スケートボード 禁止すべき・禁止すべきでない・どちらともいえない
- ・ローラースケート 禁止すべき・禁止すべきでない・どちらともいえない
- ・キックボード 禁止すべき・禁止すべきでない・どちらともいえない
- ・犬の散歩 禁止すべき・禁止すべきでない・どちらともいえない

6. この広場の使い方についての看板を見たことはありますか？

①はい ②いいえ

7. あなたは決められたルールは必ず守らないといけないと思いますか？

①必ず守るべき ②場合によっては守らなくても良い

③迷惑にならなければ、それほど気にしなくて良い

キックボード



8. わかくさ広場の使い方について、あなたの意見をご自由にお書きください

ご協力ありがとうございました。

上戸祭小学校4年 濱田久遠・小原史生